

# 令和7年度住まいに関する県民インターネットアンケート調査（速報）

## (1) 調査の目的

この調査は、令和3年度を初年度とする長野県住生活基本計画の見直し等にあたり、県民の住宅及び住環境に関する現状、意識、ニーズ等を把握し、基礎資料とする目的で実施。

## (2) 調査の項目

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| ①回答者の属性           | ②住宅・居住環境に関する意識・意向について |
| ③住宅の環境対策について      | ④住宅の地震対策について          |
| ⑤高齢社会における住宅対策について | ⑥空き家対策について            |
| ⑦公営住宅のあり方について     | ⑧賃貸住宅に対するニーズ          |
| ⑨景観について           | ⑩地域コミュニティについて         |
| ⑪これからの信州の住まい方について | ⑫その他                  |

## (3) 調査の設計

この調査は、次のとおり設計。

- |         |                           |
|---------|---------------------------|
| ①調査対象   | 長野県内に住む満18歳以上の男女個人        |
| ②調査対象者数 | 1,000人                    |
| ③抽出方法   | WEBモニターから抽出               |
| ④調査方法   | WEB調査                     |
| ⑤調査期間   | 令和8年（2026年）1月5日（月）～19日（月） |

## (4) 割付

年齢	東信地域	南信地域	中信地域	北信地域	合計
18－29歳	37	38	45	44	164
30－39歳	42	42	42	42	168
40－49歳	42	42	42	42	168
50－59歳	42	42	42	42	168
60－64歳	42	42	42	42	168
65歳以上	41	41	41	41	164
合計	246	247	254	253	1,000

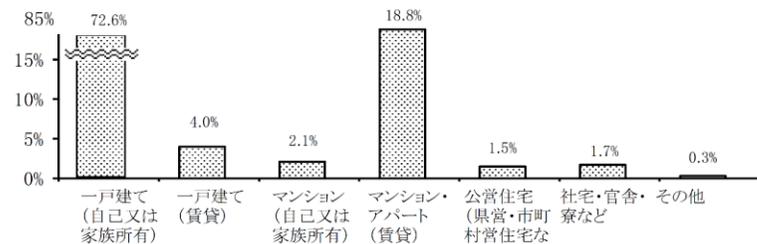
## (5) 回収対象者の分類

【住まいの立地】

	実数	割合
市街地(大きな都市の中心部)	157	15.7%
郊外の住宅地(大きな都市の中心部周辺や隣接町村)	503	50.3%
町村の中心部(中心集落)	159	15.9%
農山村中山間地	167	16.7%
保健休養地	7	0.7%
その他	7	0.7%
合計	1,000	100.0%

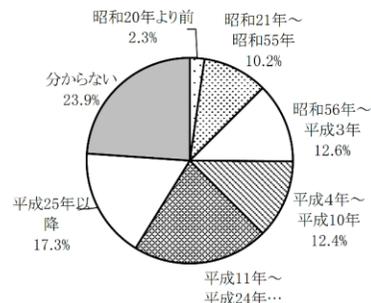
【住宅形態】

	実数	割合
一戸建て(自己又は家族所有)	716	71.6%
一戸建て(賃貸)	40	4.0%
マンション(自己又は家族所有)	21	2.1%
マンション・アパート(賃貸)	188	18.8%
公営住宅(県営・市町村営住宅など)	15	1.5%
社宅・官舎・寮など	17	1.7%
その他	3	0.3%
合計	1,000	100.0%



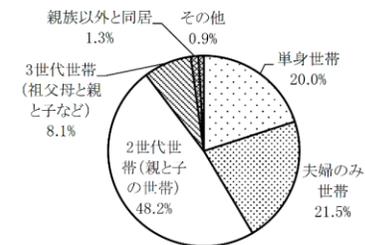
【築年数】

	実数	割合
昭和20年より前	23	2.3%
昭和21年～昭和55年	102	10.2%
昭和56年～平成3年	126	12.6%
平成4年～平成10年	124	12.4%
平成11年～平成24年	213	21.3%
平成25年以降	173	17.3%
分からない	239	23.9%
合計	1,000	100.0%



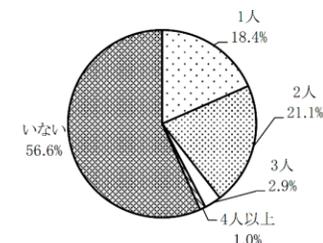
【世帯構成】

	実数	割合
単身世帯	200	20.0%
夫婦のみ世帯	215	21.5%
2世代世帯(親と子の世帯)	482	48.2%
3世代世帯(祖父母と親と子など)	81	8.1%
親族以外と同居	13	1.3%
その他	9	0.9%
合計	1,000	100.0%



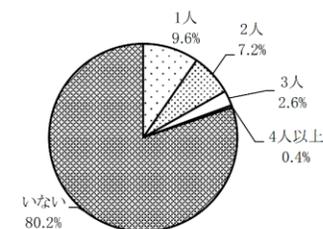
【65歳以上の方】

	実数	割合
1人	184	18.4%
2人	211	21.1%
3人	29	2.9%
4人以上	10	1.0%
いない	566	56.6%
合計	1,000	100.0%



【18歳未満の方】

	実数	割合
1人	96	9.6%
2人	72	7.2%
3人	26	2.6%
4人以上	4	0.4%
いない	802	80.2%
合計	1,000	100.0%



(6) 集計結果（選択肢による回答のみ）

問9 「衣」「食」「住」のうち、あなたの「住」（住まい）は、10年前に比べて良くなっていますか。

全体	良くなっている	やや良くなっている	どちらとも言えない	やや悪くなっている	悪くなっている
1000	105	119	475	190	111
100.0	10.5	11.9	47.5	19.0	11.1

上段：回答数  
下段：回答割合（%）以下設問も同様  
グラフ内数値は回答割合（%）を表示

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：「どちらとも言えない」が47.5%が最多。  
悪化（計30.1%）が改善（22.4%）を上回る。

問10 自分が住んでもよいと思う住宅について、あなたの考えに最も近いものを次の中から選んでください。

全体	新築の持家が 良い	条件によって は中古の持家 でも良い	賃貸住宅 （新築・中 古）が良い	特にこだわら ない
1000	377	250	89	284
100.0	37.7	25.0	8.9	28.4

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：新築持家37.7%、中古持家25.0%、  
特にこだわらない28.4%、賃貸8.9%

問11 （問10で1を選んだ方におたずねします。）中古住宅を選択しなかった理由を次の中から2つ以内で選んでください。

全体	早い時期にリ フォーム（修 繕や増改築な ど）が必要と なりそうだから	耐久性に問 題がありそう だから	資産価値の 割に価格が高 そうだから	他の人が利用 した住宅に住 みたくないから	希望通りの住 宅が見つかり にくそうだから	見えない部分 の状態に不安 があるから	断熱効果が 不十分（寒 そう）だから	その他
377	121	119	16	110	80	101	49	4
100.0	32.1	31.6	4.2	29.2	21.2	26.8	13.0	1.1

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：早期リフォーム必要32.1%、耐久性不安31.6%、  
他人使用に抵抗29.2%、見えない部分不安26.8%

問12 住宅を新築・購入するとしたら、どのような構造の住宅を選びますか。

全体	一戸建ての木 造住宅で、在 来工法のもの	一戸建ての木 造住宅で、在 来工法以外 のもの（プレハ ブ工法、枠組 壁工法（2 ×4）など）	一戸建ての非 木造住宅 （鉄骨造や 鉄筋コンクリ ート造の住宅）	マンションなど の集合住宅	特にこだわら ない	その他
1000	300	118	116	78	381	7
100.0	30.0	11.8	11.6	7.8	38.1	0.7

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：木造在来工法30.0%、特にこだわらない38.1%、  
木造在来工法以外11.8%、非木造11.6%

問13 住宅を新築したりリフォームするとしたら、どこに依頼しようと思いますか。※複数にあてはまる場合は、最もあてはまる依頼先をお答えください。

全体	大手ハウ スメーカー	地元の大工・ 工務店	設計は設計 事務所、建設 は大工・工務 店	特にこだわら ない	その他
1000	290	219	50	432	9
100.0	29.0	21.9	5.0	43.2	0.9

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：特にこだわらない43.2%、大手ハウスメーカー29.0%、  
地元の大工・工務店21.9%

問14 （問13で1から3を選んだ方におたずねします。）その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。

全体	技術力が高い から	経験が豊富だ から	知名度が高い から	建設費が安い から	アフターサー ビスが良いから	知り合いがい る、または自 分と関係して いるから	人柄が信頼で きそうだから	細かな要望に も応えてくれ そうだから	その他
559	251	183	77	77	149	74	47	87	14
100.0	44.9	32.7	13.8	13.8	26.7	13.2	8.4	15.6	2.5

前回調査との比較（グラフ）参照

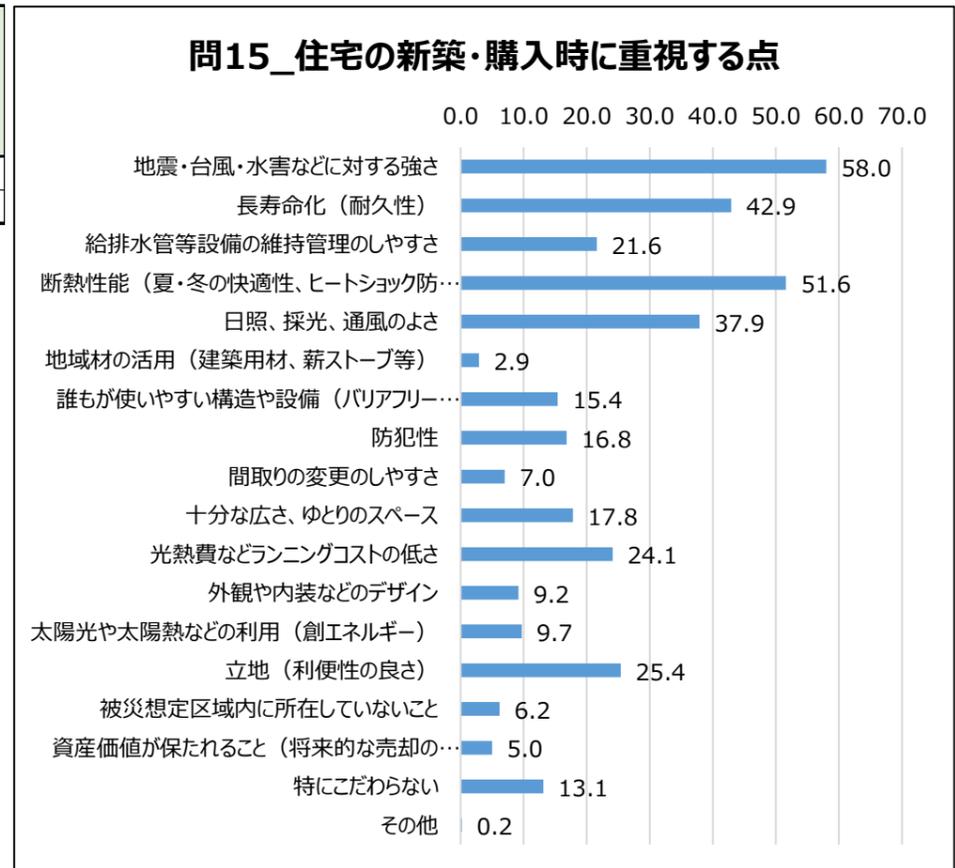
要点：技術力が高い44.9%、経験が豊富32.7%、  
アフターサービスが良い26.7%、要望にも応えてくれそう15.6%

問15 住宅を新築・購入するとしたら、どのような点を特に重視しますか。次の中から5つ以内で選んでください。

全体	地震・台風・水害などに対する強さ	長寿命化（耐久性）	給排水管等設備の維持管理のしやすさ	断熱性能（夏・冬の快適性、ヒートショック防止）	日照、採光、通風のよさ	地域材の活用（建築用材、薪ストーブ等）	誰もが使いやすい構造や設備（バリアフリー等）	防犯性	間取りの変更のしやすさ
1000	580	429	216	516	379	29	154	168	70
100.0	58.0	42.9	21.6	51.6	37.9	2.9	15.4	16.8	7.0

十分な広さ、ゆとりのスペース	光熱費などランニングコストの低さ	外観や内装などのデザイン	太陽光や太陽熱などの利用（創エネルギー）	立地（利便性の良さ）	被災想定区域内に所在していないこと	資産価値が保たれること（将来的な売却のしやすさ）	特にこだわらない	その他
178	241	92	97	254	62	50	131	2
17.8	24.1	9.2	9.7	25.4	6.2	5.0	13.1	0.2

要点：地震などに対する強さ58%、断熱性能51.6%、長寿命化42.9%、日照・採光・通風のよさ37.9%、立地25.4%



問16 自宅の周辺環境で不満を感じていることはありますか。該当するものを次の中から5つ以内で選んでください。

全体	火災・地震・水害などに対する安全性	まわりの道路の歩行時の安全性	騒音、振動、空気・水の汚れ	通勤・通学などの利便性	日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性	大型商業施設、娯楽施設の充実	公共交通機関の利便性
1000	189	135	129	141	215	165	242
100.0	18.9	13.5	12.9	14.1	21.5	16.5	24.2

子どもの遊び場・公園などの充実	緑・水辺など自然の豊かさ	日当たり、風通しなど空間のゆとり	まちなみの景観	近隣の人たちや地域とのつながり	親族（親・子どもなど）の住宅との距離	特になし	その他
64	40	136	51	102	44	362	9
6.4	4.0	13.6	5.1	10.2	4.4	36.2	0.9

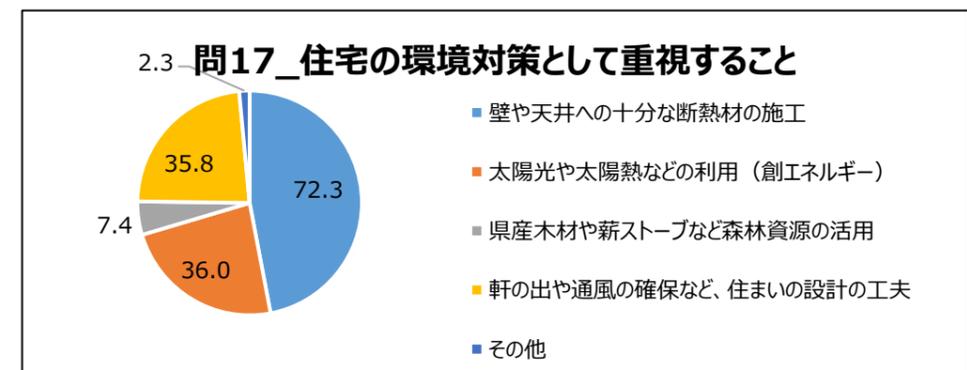
前回調査との比較（グラフ）参照

要点：特になし36.2%、公共交通機関の利便性24.2%、日常に使用する施設の利便性21.5%、火災などの災害に対する安全性18.9%

問17 住宅の環境対策として、何を重視しますか。次の中から2つ以内で選んでください。

全体	壁や天井への十分な断熱材の施工	太陽光や太陽熱などの利用（創エネルギー）	県産木材や薪ストーブなど森林資源の活用	軒の出や通風の確保など、住まいの設計の工夫	その他
1000	723	360	74	358	23
100.0	72.3	36.0	7.4	35.8	2.3

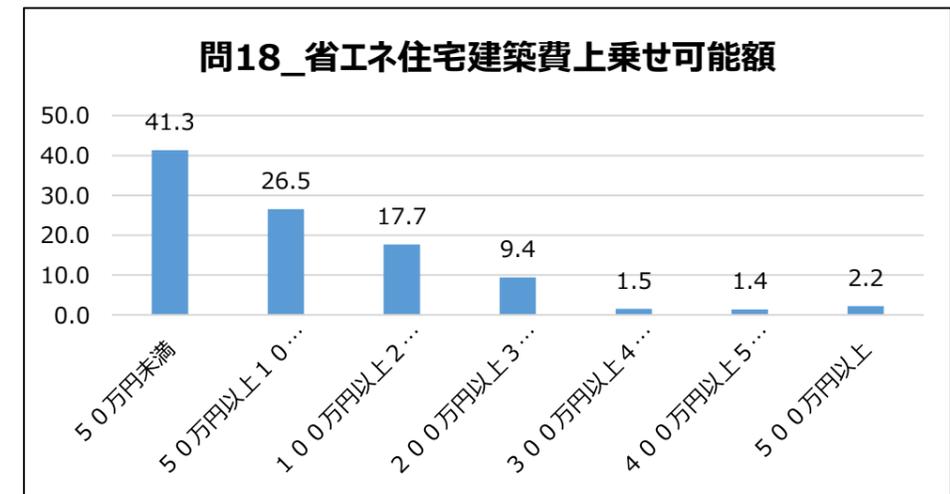
要点：断熱材の施工72.3%が最多。太陽光等36.0%、設計工夫35.8%



問18 住宅の脱炭素化に向け、省エネルギー住宅を建築する際、光熱費等の削減を見越し、いくらまでなら建設費を上乗せできますか。

全体	50万円未満	50万円以上100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上
1000	413	265	177	94	15	14	22
100.0	41.3	26.5	17.7	9.4	1.5	1.4	2.2

要点：50万円未満41.3%が最多、50～100万円26.5%、100～200万円17.7%

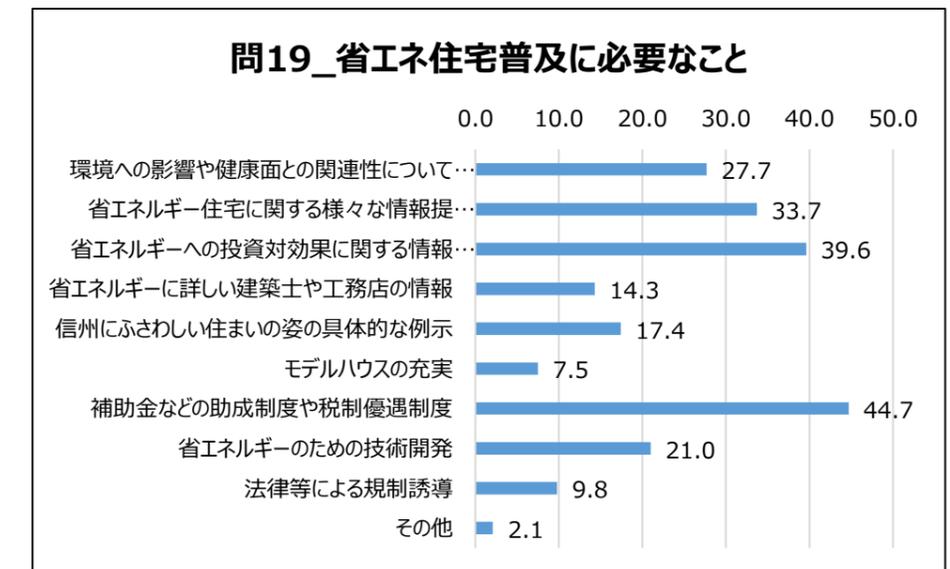


問19 省エネルギー住宅を普及させるためには何が必要だと思いますか。次の中から3つ以内で選んで下さい。

全体	環境への影響や健康面との関連性についての理解の浸透	省エネルギー住宅に関する様々な情報提供（材料、設備、工法等）	省エネルギーへの投資対効果に関する情報（コスト比較等）	省エネルギーに詳しい建築士や工務店の情報	信州にふさわしい住まいの姿の具体的な例示	モデルハウスの充実	補助金などの助成制度や税制優遇制度	省エネルギーのための技術開発
1000	277	337	396	143	174	75	447	210
100.0	27.7	33.7	39.6	14.3	17.4	7.5	44.7	21.0

法律等による規制誘導	その他
98	21
9.8	2.1

要点：補助・税制44.7%が最多。投資対効果情報39.6%、仕様等の情報提供33.7%



問20 仮に現在住んでいる住宅の耐震性が不足した場合、どのような対策をとろうと思いますか。※複数にあてはまる場合は、最もあてはまる対策をお答えください。

全体	全く壊れないように住宅を補強したい	倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい	特に住宅の補強はしないが、耐震シエルト（耐震ベッド）を設置することで、少なくとも就寝時の安全は確保したい	特に住宅の補強はしないが、本棚などの家具の転倒防止対策は行いたい	現在の住宅の対策をとるのではなく、建て替えや別の住宅への住み替えをしたい	特に対策をとらない	その他
1000	206	249	59	167	103	189	27
100.0	20.6	24.9	5.9	16.7	10.3	18.9	2.7

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：「避難できる程度の補強」24.9%、「全く壊れない補強」20.6%、「家具転倒防止」16.7%、「対策しない」18.9%

問21 (問20で3から5を選んだ方におたずねします。) その主な理由を選んでください。

全体	資金に余裕がないから	どの業者に依頼すればよいか分からないから	居住性や使い勝手が悪くなりそうだから	住み続けながらの工事は大変そうだから	自分が住んでいる間には、大地震は来ないと思うから	住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから	借家だから	その他
329	124	15	31	50	16	36	46	11
100.0	37.7	4.6	9.4	15.2	4.9	10.9	14.0	3.3

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：資金不足37.7%、住み続けながらの工事の大変さ15.2%、借家14.0%、後継者不在10.9%

問22 高齢者になったとき（現在高齢者の方も含みます。）のことを考えて、現在住んでいる住宅及びその地域について不安に感じることはありますか。次の中から2つ以内選んでください。

全体	住居費（改修費や家賃など）の負担	災害時の安全性	手すりが無い、段差があるなど、バリアフリー化されていないこと	病院や福祉施設などが近くにないこと	商店が近くにないこと	まわりの道路の歩行時の安全性	親族が近くにないこと	公共交通機関が不便なこと
1000	287	188	151	141	124	62	65	223
100.0	28.7	18.8	15.1	14.1	12.4	6.2	6.5	22.3

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：住居費28.7%、公共交通機関が不便22.3%、災害時の安全性18.8%、バリアフリー未対応15.1%

近隣や地域とのつながり	相続に関すること（名義変更など）	空き家問題（放置・解体・活用など）が起きないか心配	特になし	その他
34	67	57	180	3
3.4	6.7	5.7	18.0	0.3

問23 高齢者になったとき（現在高齢者の方も含みます。）、誰と一緒に住む予定ですか。

全体	単身または夫婦だけで住む	子どもなど親族と一緒に住む	親族の近くで単身または夫婦だけで住む	知人や友人と一緒に住む	その他
1000	691	161	82	36	30
100.0	69.1	16.1	8.2	3.6	3.0

前回調査との比較（グラフ）参照

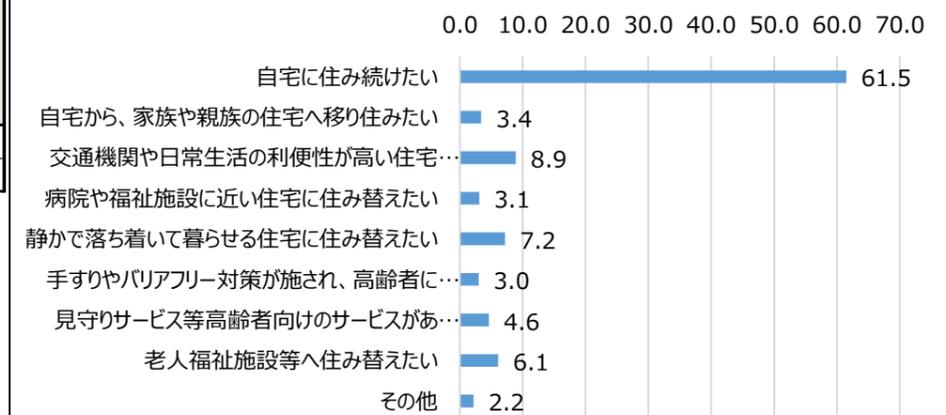
要点：単身または夫婦だけで住む69.1%

問24 高齢者になったとき（現在高齢者の方も含みます。）、住み替えたいと思いますか。※最も近いものを次の中から選んでください。

全体	自宅に住み続けたい	自宅から、家族や親族の住宅へ移り住みたい	交通機関や日常生活の利便性が高い住宅に住み替えたい	病院や福祉施設に近い住宅に住み替えたい	静かで落ち着いた暮らせる住宅に住み替えたい	手すりやバリアフリー対策が施され、高齢者に配慮した住宅へ住み替えたい	見守りサービス等高齢者向けのサービスがある住宅へ住み替えたい	老人福祉施設等へ住み替えたい	その他
1000	615	34	89	31	72	30	46	61	22
100.0	61.5	3.4	8.9	3.1	7.2	3.0	4.6	6.1	2.2

要点：自宅に住み続けたい61.5%で多数

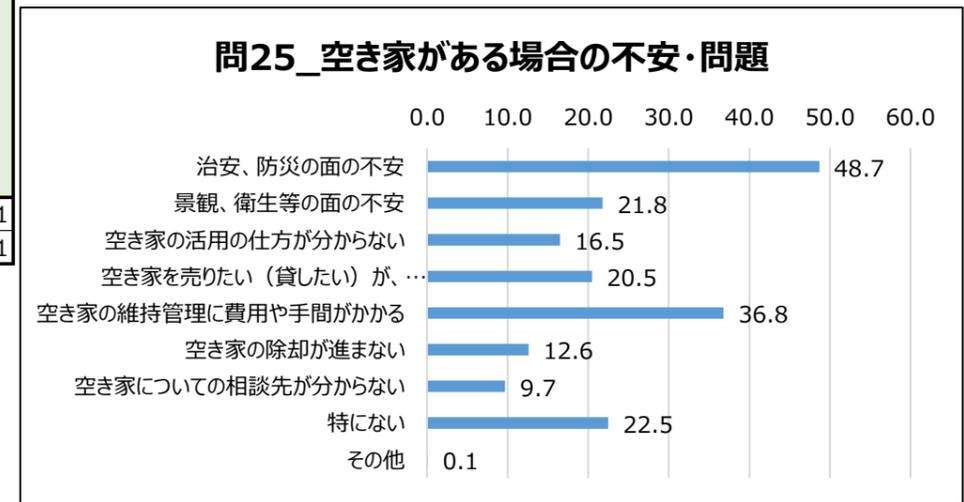
問24\_高齢者になったときの住み替え意向



問25 空き家がある場合に生じる不安や問題等は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。（空き家を所有していない方は空き家を所有していると仮定して回答ください。）

全体	治安、防災の面の不安	景観、衛生等の面の不安	空き家の活用の仕方が分からない	空き家を売りたい（貸したい）が、買い手（借り手）が見つからない	空き家の維持管理に費用や手間がかかる	空き家の除却が進まない	空き家についての相談先が分からない	特になし	その他
1000	487	218	165	205	368	126	97	225	1
100.0	48.7	21.8	16.5	20.5	36.8	12.6	9.7	22.5	0.1

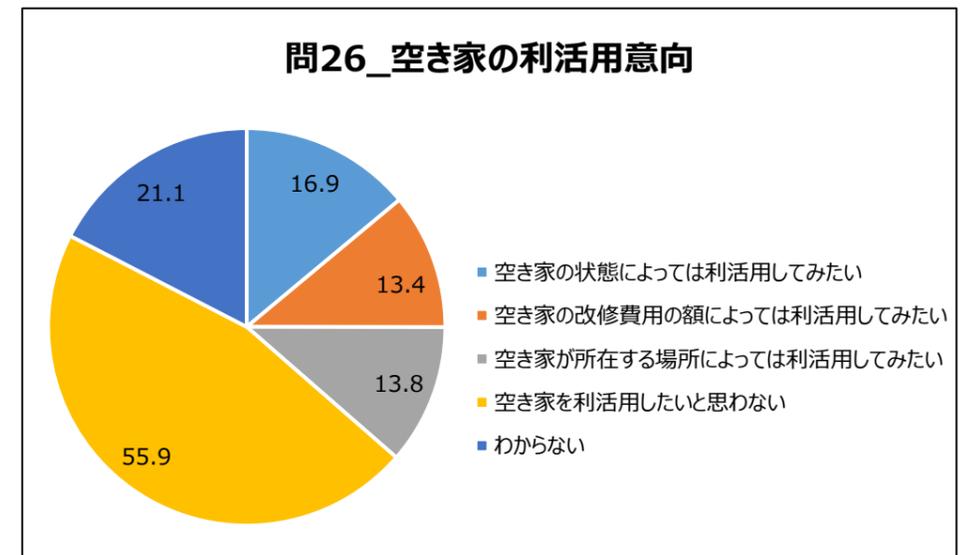
要点：治安・防災の不安48.7%、維持管理（費用・手間）36.8%



問26 あなたは空き家を利活用してみたいと思いますか。

全体	空き家の状態によっては利活用してみたい	空き家の改修費用の額によっては利活用してみたい	空き家が所在する場所によっては利活用してみたい	空き家を利活用したいと思わない	わからない
1000	169	134	138	559	211
100.0	16.9	13.4	13.8	55.9	21.1

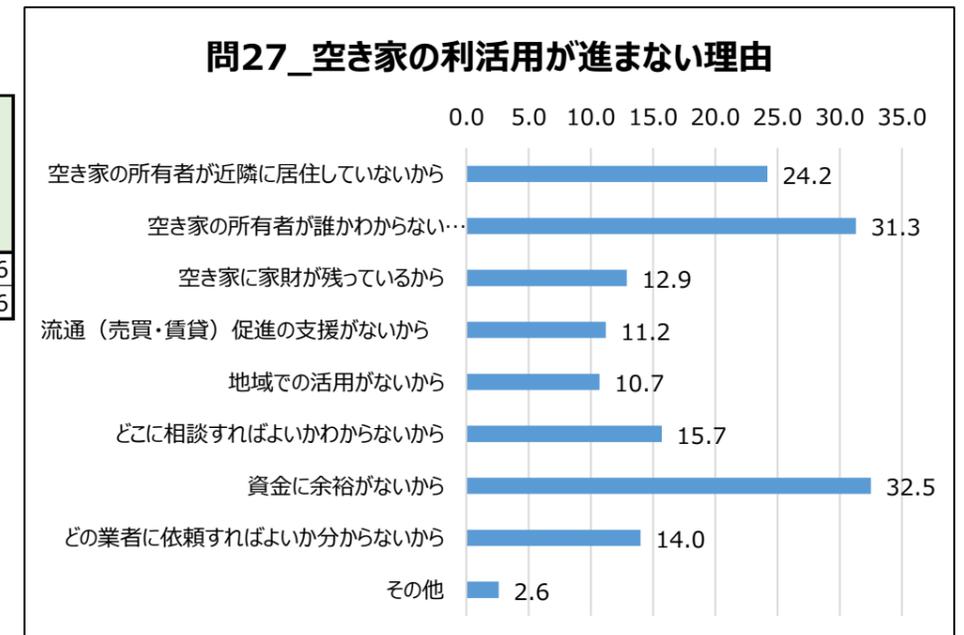
要点：利活用は「しない」55.9%が最多



問27 空き家の利活用や除却が進まない理由はどこにあると考えますか。次の中から2つ以内で選んでください。

全体	空き家の所有者が近隣に居住していないから	空き家の所有者が誰かわからない・既に亡くなっているから	空き家に家財が残っているから	流通（売買・賃貸）促進の支援がないから	地域での活用がないから	どこに相談すればよいか分からないから	資金に余裕がないから	どの業者に依頼すればよいか分からないから	その他
1000	242	313	129	112	107	157	325	140	26
100.0	24.2	31.3	12.9	11.2	10.7	15.7	32.5	14.0	2.6

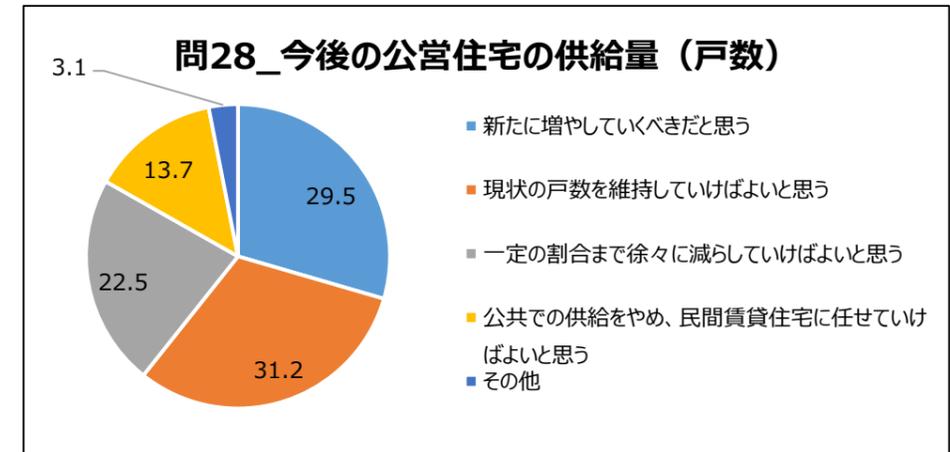
要点：資金に余裕がない32.5%、所有者不明31.3%



問28\_ 公営住宅は、住宅にお困りで一定の収入以下の方に、低廉な家賃で住宅を賃貸することを目的としており、住宅のセーフティネットの役割を大きく担っているところです。あなたは、このような現状の中、今後の公営住宅の供給量（戸数）をどのようにしたらよいと思いますか。

全体	新たに増やしていくべきだと思う	現状の戸数を維持していけばよいと思う	一定の割合まで徐々に減らしていけばよいと思う	公共での供給をやめ、民間賃貸住宅に任せていけばよいと思う	その他
1000	295	312	225	137	31
100.0	29.5	31.2	22.5	13.7	3.1

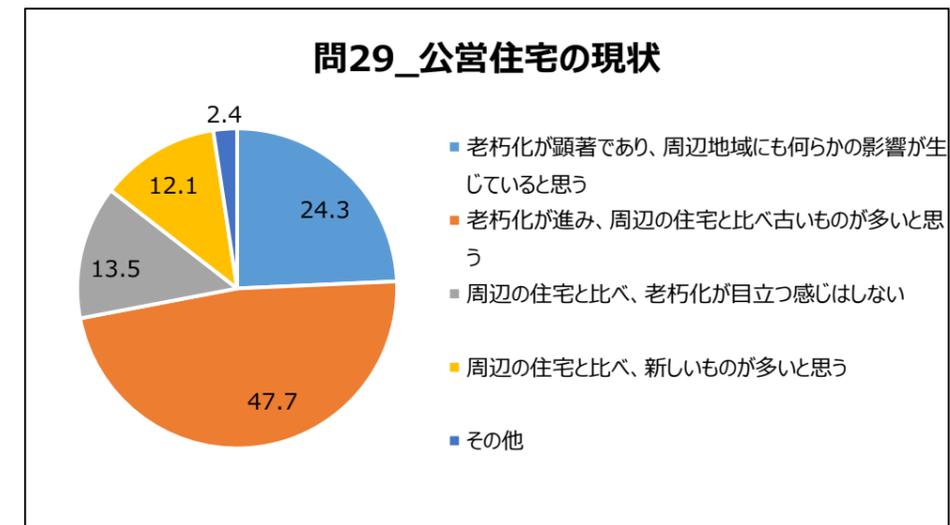
要点：現状維持31.2%、増やす29.5%



問29\_ 公営住宅の現状は、昭和30年～昭和40年代に建設された住宅が数多くあるところです。あなたは、現在の公営住宅の状態をどのように感じていますか。

全体	老朽化が顕著であり、周辺地域にも何らかの影響が生じていると思う	老朽化が進み、周辺の住宅と比べ古いものが多いと思う	周辺の住宅と比べ、老朽化が目立つ感じはしない	周辺の住宅と比べ、新しいものが多いと思う	その他
1000	243	477	135	121	24
100.0	24.3	47.7	13.5	12.1	2.4

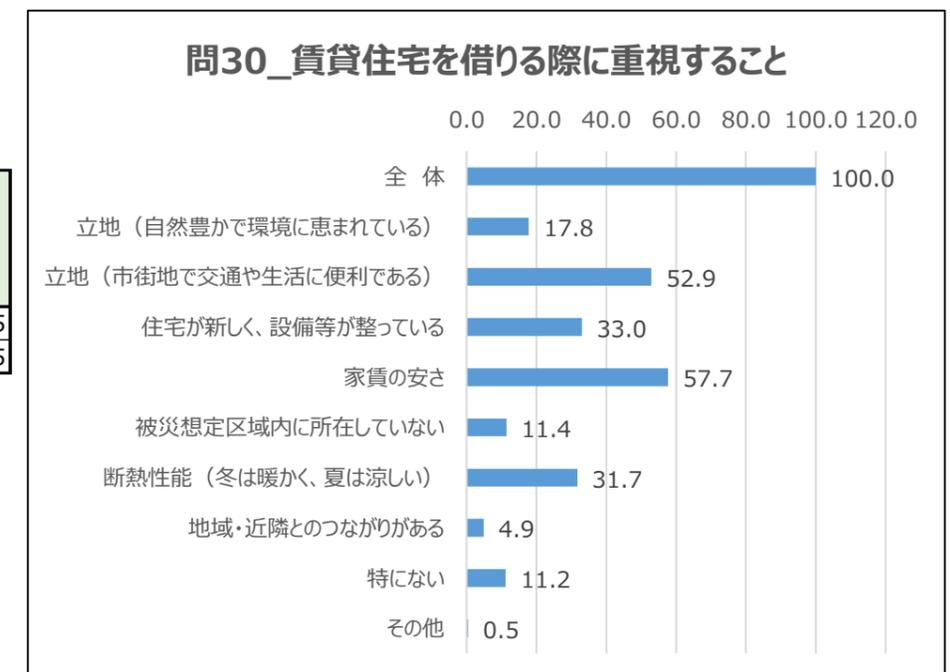
要点：老朽化進み、周辺の住宅と比べ古い47.7%



問30\_ 賃貸住宅を借りる場合に、何を重視しますか。次の中から3つ以内で選んでください。

全体	立地（自然豊かで環境に恵まれている）	立地（市街地で交通や生活に便利である）	住宅が新しく、設備等が整っている	家賃の安さ	被災想定区域内に所在していない	断熱性能（冬は暖かく、夏は涼しい）	地域・近隣とのつながりがある	特にない	その他
1000	178	529	330	577	114	317	49	112	5
100.0	17.8	52.9	33.0	57.7	11.4	31.7	4.9	11.2	0.5

要点：家賃の安さ57.7%、立地（市街地）52.9%、新しさ・設備33.0%、断熱性能31.7%

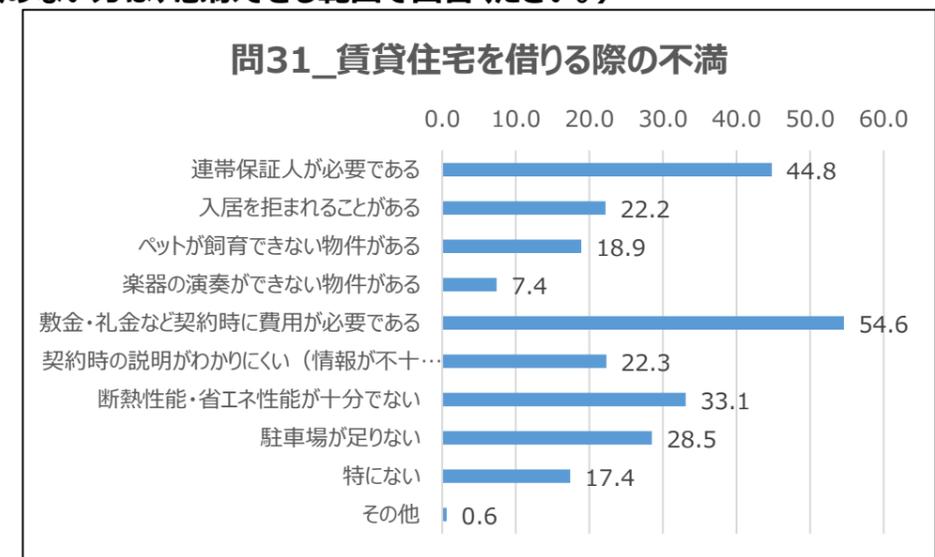


問31 賃貸住宅を借りる際に感じる不満は何ですか。次の中から5つ以内で選んでください。（住宅を借りた経験のない方は、想像できる範囲で回答ください。）

全体	連帯保証人 が必要である	入居を拒まれ ることがある	ペットが飼育で きない物件が ある	楽器の演奏が できない物件 がある	敷金・礼金な ど契約時に費 用が必要であ る	契約時の説 明がわかりにく い（情報が不 十分）	断熱性能・省 エネ性能が十 分でない	駐車場が足り ない
1000	448	222	189	74	546	223	331	285
100.0	44.8	22.2	18.9	7.4	54.6	22.3	33.1	28.5

特にな い	その他
174	6
17.4	0.6

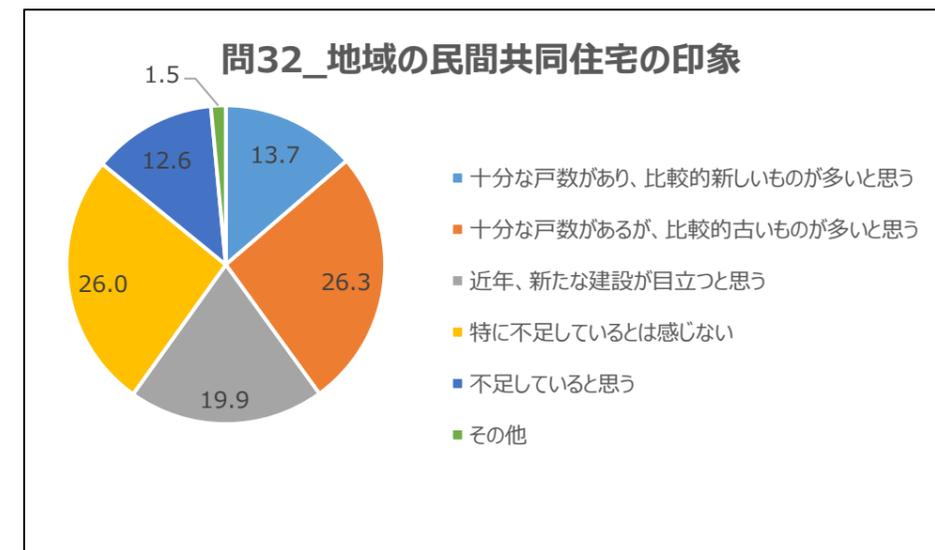
要点：契約時の費用54.6%、連帯保証人が必要44.8%、断熱性能不足33.1%



問32 地域の民間賃貸共同住宅（アパート・マンション等）について、どのように感じていますか。

全体	十分な戸数が あり、比較的 新しいものが 多いと思う	十分な戸数が あるが、比較 的古いものが 多いと思う	近年、新たな 建設が目立つ と思う	特に不足して いるとは感じな い	不足している と思う	その他
1000	137	263	199	260	126	15
100.0	13.7	26.3	19.9	26.0	12.6	1.5

要点：戸数はあるが比較的古いものが多い26.3%、特に不足していない26.0%



問33 現在住んでいる地区のまちなみ景観について、どのような印象をお持ちですか。

全体	大変良い	まあ良い	どちらとも言 えない	あまり良くない	良くない
1000	50	381	453	91	25
100.0	5.0	38.1	45.3	9.1	2.5

前回調査との比較（グラフ）参照

要点：「どちらとも言えない」45.3%、「まあ良い」38.1%

問34 （問33で4または5を選んだ方におたずねします。）その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。

全体	周囲の景観に 調和していな い建物や工作 物があるから （外壁の色、 形など）	電柱、電線が 気になるから	看板、広告塔 が乱立してい るから	ポスターなどが 氾濫している から	塀、垣根など に緑が少ない から	街路樹などが 少ないから	自動販売機 が目立つから	老朽建物や 空き家がある から	積極的な景 観育成の取 組がなく、殺 風景だから	その他
116	25	27	7	5	10	10	2	38	44	4
100.0	21.6	23.3	6.0	4.3	8.6	8.6	1.7	32.8	37.9	3.4

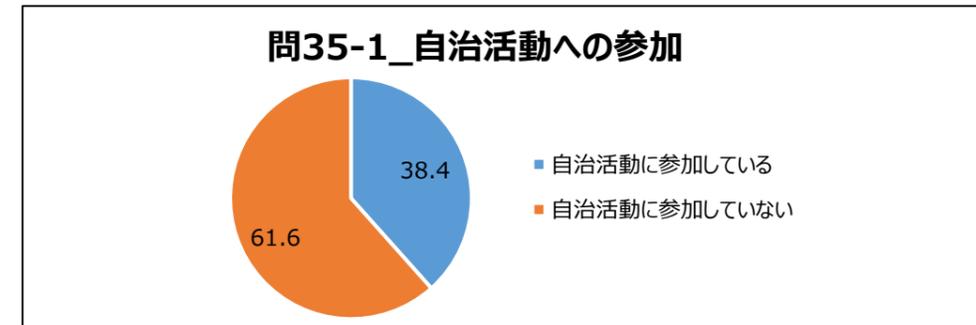
前回調査との比較（グラフ）参照

要点：「積極的な景観育成がない」37.9%、「老朽建物・空き家」32.8%が上位

問35-1 地域の自治活動に参加していますか。

全体	自治活動に参加している	自治活動に参加していない
1000	384	616
100.0	38.4	61.6

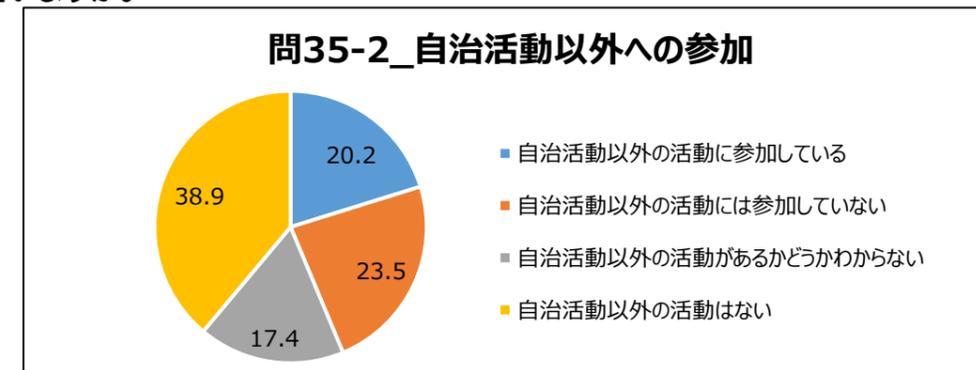
要点：参加していない61.6%、参加している38.4%



問35-2 地域の自治活動以外の活動（友人や近隣住民等、地域との交流・つながりを持つ活動）に参加していますか。

全体	自治活動以外の活動に参加している	自治活動以外の活動には参加していない	自治活動以外の活動があるかどうかかわからない	自治活動以外の活動はない
1000	202	235	174	389
100.0	20.2	23.5	17.4	38.9

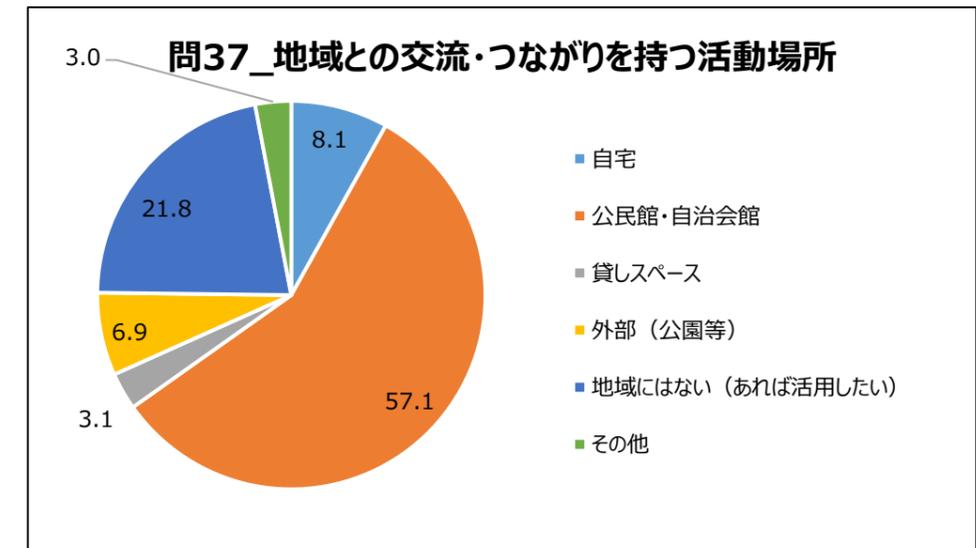
要点：自治活動以外「活動はない」38.9%、「参加していない」23.5%



問37 近隣住民や地域との交流・つながりを持つ活動をするための場所はどこですか。

全体	自宅	公民館・自治会館	貸しスペース	外部（公園等）	地域にはない（あれば活用したい）	その他
1000	81	571	31	69	218	30
100.0	8.1	57.1	3.1	6.9	21.8	3.0

要点：公民館・自治会館57.1%、地域にない（あれば活用したい）21.8%

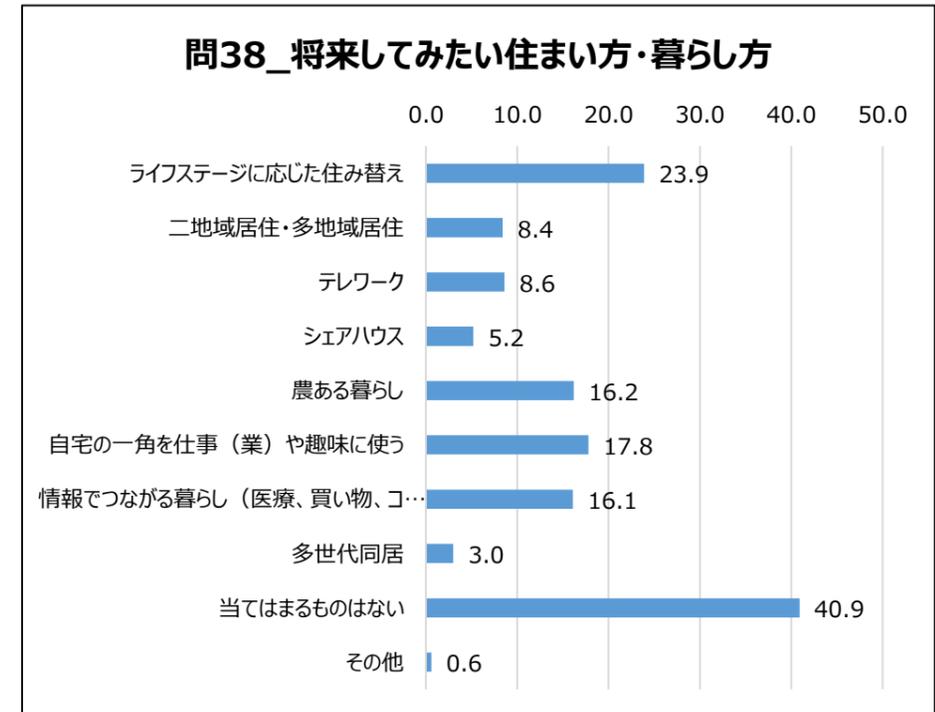


問38 あなたが将来してみたい住まい方・暮らし方について当てはまるものはありますか。次の中から3つ以内で選んでください。

全体	ライフステージに応じた住み替え	二地域居住・多地域居住	テレワーク	シェアハウス	農ある暮らし	自宅の一角を仕事（業）や趣味に使う	情報でつながる暮らし（医療、買い物、コミュニティ等）
1000	239	84	86	52	162	178	161
100.0	23.9	8.4	8.6	5.2	16.2	17.8	16.1

多世代同居	当てはまるものはない	その他
30	409	6
3.0	40.9	0.6

要点：公民館・自治会館57.1%、地域にない（あれば活用したい）21.8%

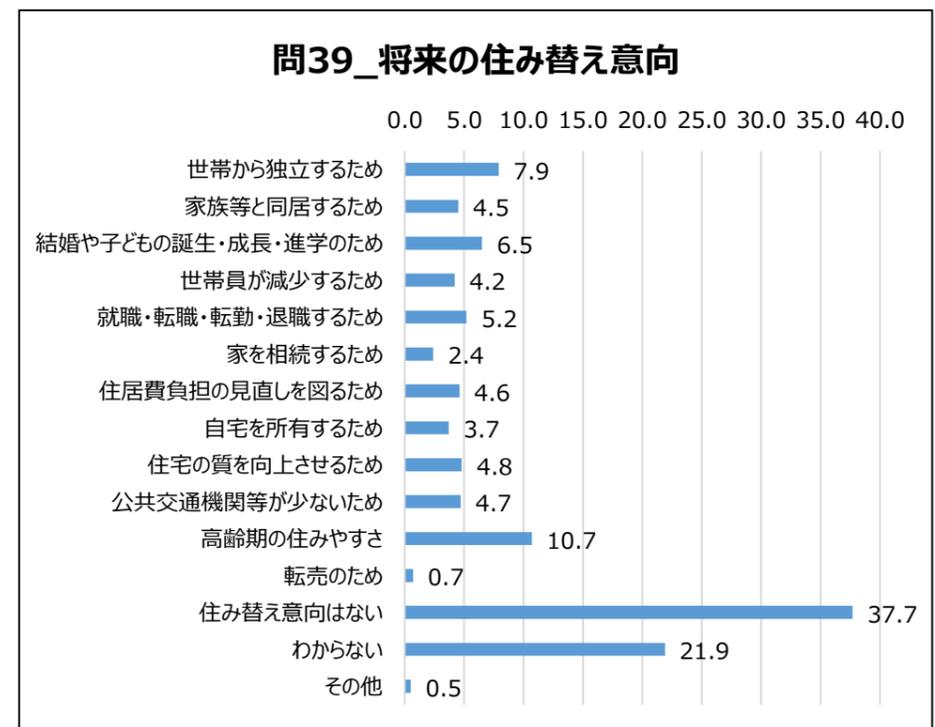


問39 今後10年以内の住み替えを考えている場合、その主な理由を次の中から2つ以内で選んでください。

全体	世帯から独立するため	家族等と同居するため	結婚や子どもの誕生・成長・進学のため	世帯員が減少するため	就職・転職・転勤・退職するため	家を相続するため	住居費負担の見直しを図るため	自宅を所有するため
1000	79	45	65	42	52	24	46	37
100.0	7.9	4.5	6.5	4.2	5.2	2.4	4.6	3.7

住宅の質を向上させるため	公共交通機関等が少ないため	高齢期の住みやすさ	転売のため	住み替え意向はない	わからない	その他
48	47	107	7	377	219	5
4.8	4.7	10.7	0.7	37.7	21.9	0.5

要点：住替える意向はない37.7%、わかり21.9%

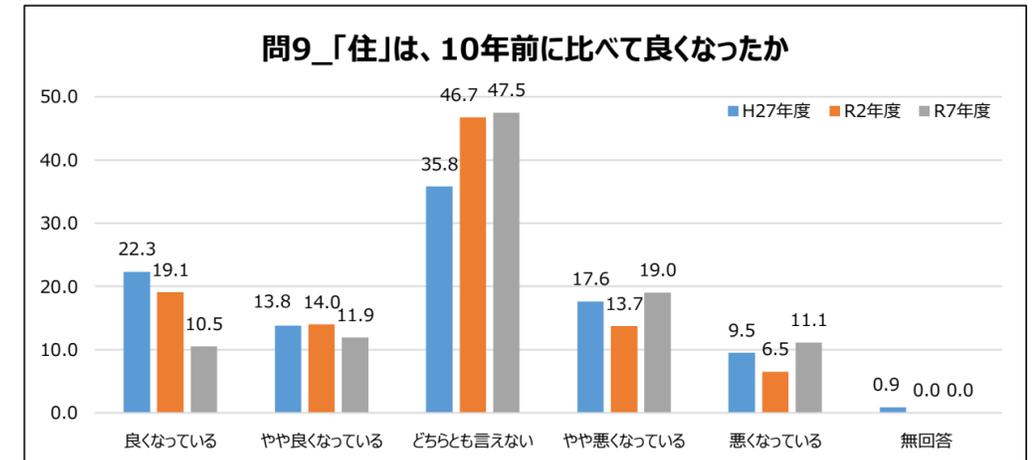


(7) 集計結果 (前回との比較)

問9\_「衣」「食」「住」のうち、「住」は、10年前に比べて良くなったか

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
良くなっている	220	22.3	191	19.1	105	10.5
やや良くなっている	136	13.8	140	14.0	119	11.9
どちらとも言えない	353	35.8	467	46.7	475	47.5
やや悪くなっている	174	17.6	137	13.7	190	19.0
悪くなっている	94	9.5	65	6.5	111	11.1
無回答	9	0.9	-	-	-	-

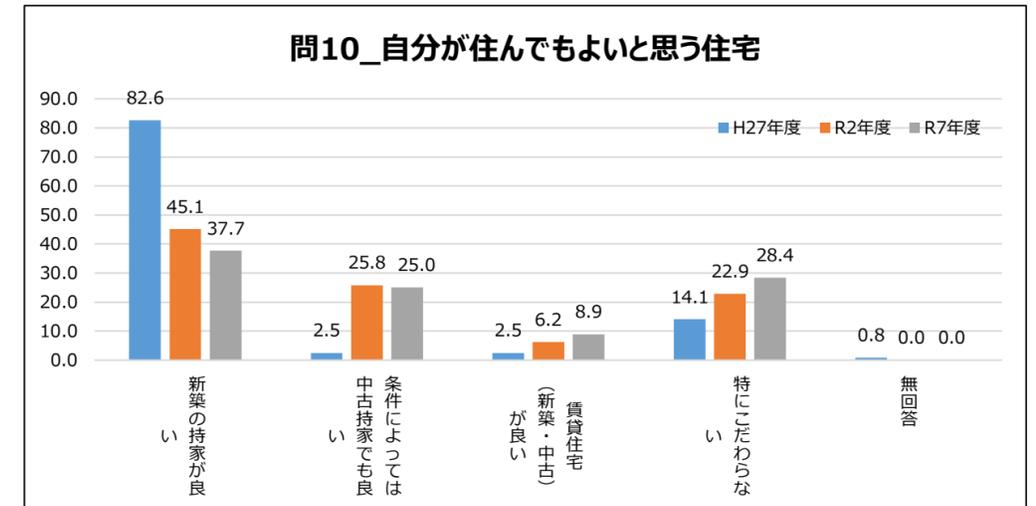
要点：回を追うごとに「改善」は減り、「悪化」傾向がじわり増加。R7では生活の体感的な住環境満足度が低下。



問10\_自分が住んでもよいと思う住宅

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
新築の持家が良	814	82.6	451	45.1	377	37.7
条件によっては中古の持家でも良	25	2.5	258	25.8	250	25.0
賃貸住宅（新築・中古）が良	25	2.5	62	6.2	89	8.9
特にこだわらない	139	14.1	229	22.9	284	28.4
無回答	8	0.8	-	-	-	-

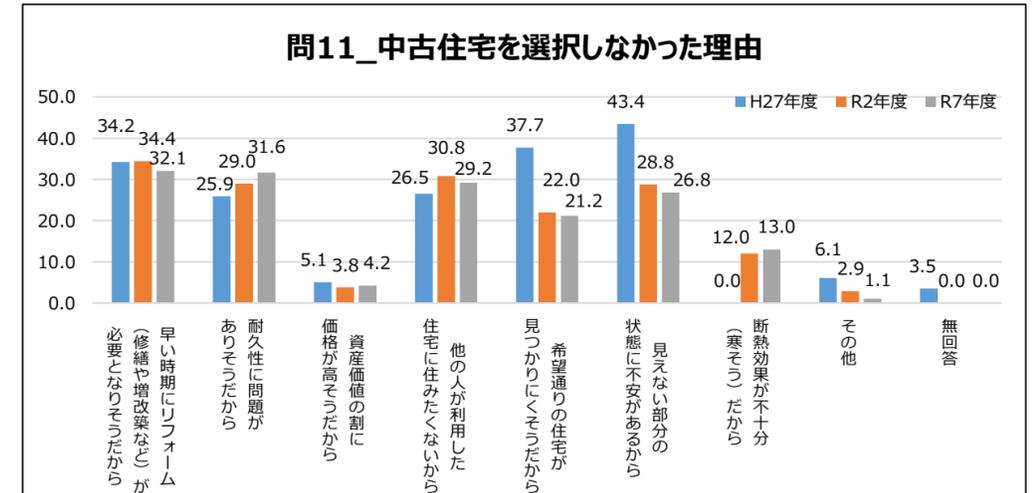
要点：新築志向は継続してトップだが長期低下。多様な選択肢（中古・賃貸）を容認する層が増加。



問11\_（前問で）中古住宅を選択しなかった理由(2つまで選択可)

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	916	100.0	451	100.0	377	100.0
早い時期にリフォーム（修繕や増改築など）が必要となりそうだから	313	34.2	155	34.4	121	32.1
耐久性に問題がありそうだから	237	25.9	131	29.0	119	31.6
資産価値の割に価格が高そうだから	47	5.1	17	3.8	16	4.2
他の人が利用した住宅に住みたくないから	243	26.5	139	30.8	110	29.2
希望通りの住宅が見つかりにくそうだから	345	37.7	99	22.0	80	21.2
見えない部分の状態に不安があるから	398	43.4	130	28.8	101	26.8
断熱効果が不十分（寒そう）だから	-	-	54	12.0	49	13.0
その他	56	6.1	13	2.9	4	1.1
無回答	32	3.5	-	-	-	-

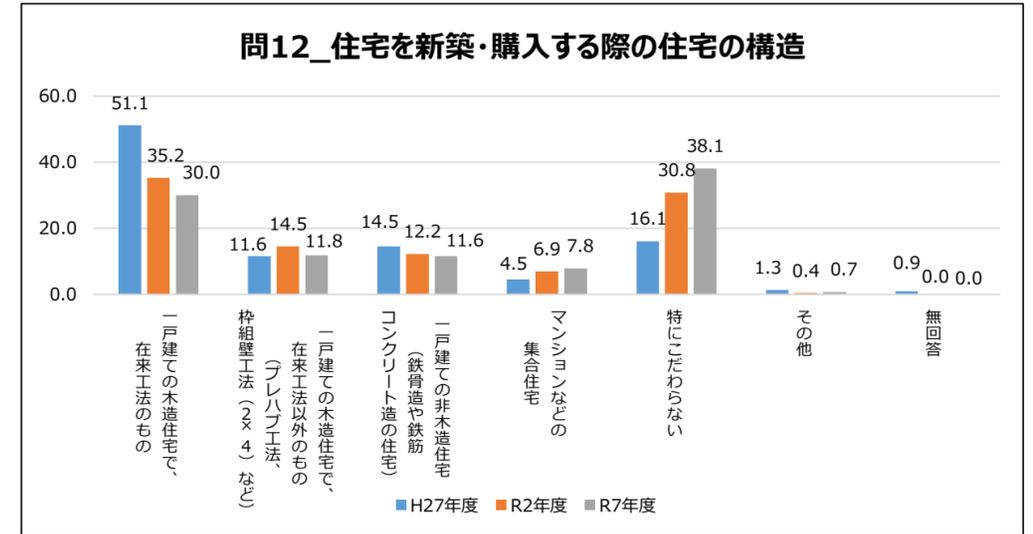
要点：性能や状態の不確実性が一貫して最大の障壁。R7でも変わらず。



問12\_ 住宅を新築・購入する際の住宅の構造

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
一戸建ての木造住宅で、在来工法のもの	504	51.1	352	35.2	300	30.0
一戸建ての木造住宅で、在来工法以外のもの（プレハブ工法、枠組壁工法（2×4）など）	114	11.6	145	14.5	118	11.8
一戸建ての非木造住宅（鉄骨造や鉄筋コンクリート造の住宅）	143	14.5	122	12.2	116	11.6
マンションなどの集合住宅	44	4.5	69	6.9	78	7.8
特にこだわらない	159	16.1	308	30.8	381	38.1
その他	13	1.3	4	0.4	7	0.7
無回答	9	0.9	-	-	-	-

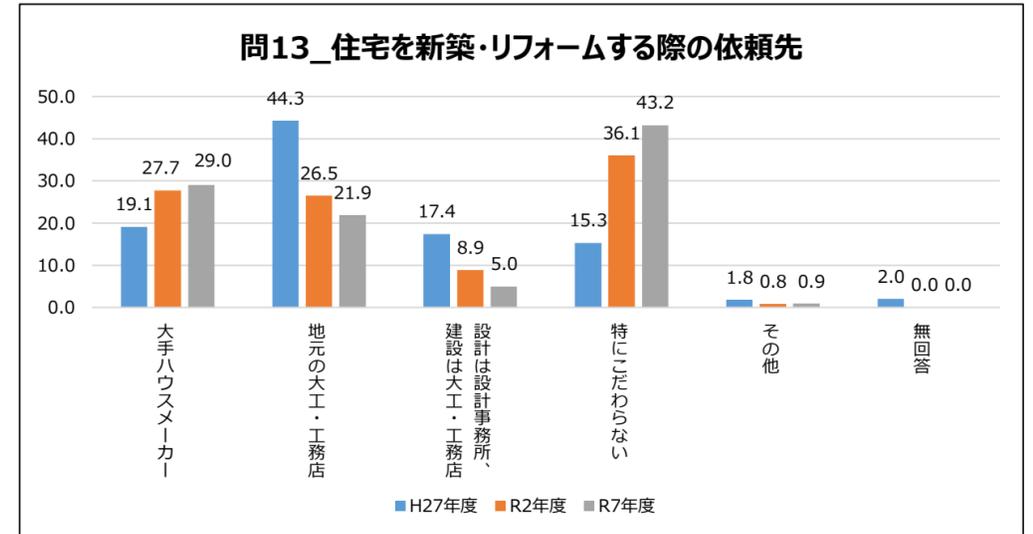
要点：構造への「こだわらない」層が最大化。



問13\_ 住宅を新築・リフォームする際の依頼先

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
大手ハウスメーカー	188	19.1	277	27.7	290	29.0
地元の大工・工務店	437	44.3	265	26.5	219	21.9
設計は設計事務所、建設は大工・工務店	172	17.4	89	8.9	50	5.0
特にこだわらない	151	15.3	361	36.1	432	43.2
その他	18	1.8	8	0.8	9	0.9
無回答	20	2.0	-	-	-	-

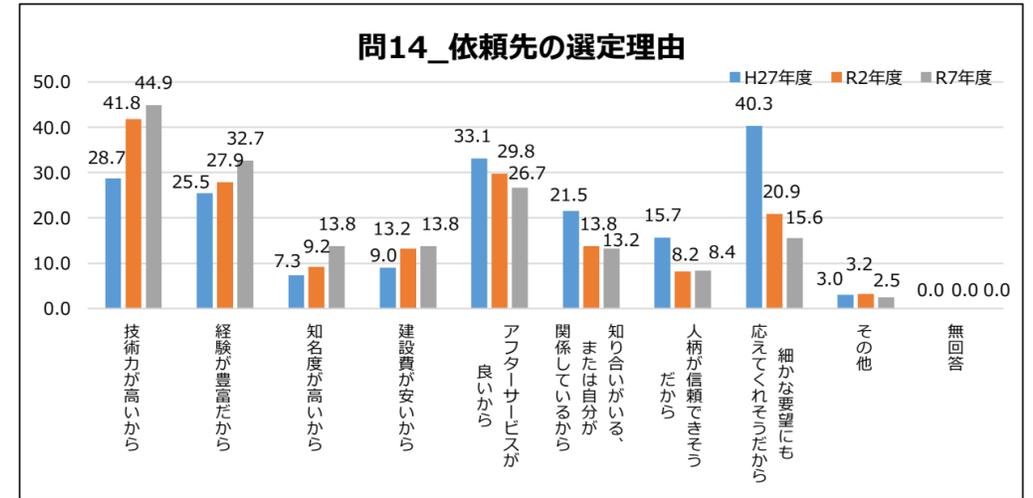
要点：依頼先は「こだわらない」層が増加し、特定の選択肢にこだわりが弱まっている。



問14\_ 依頼先選定理由(2つまで選択可)

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	797	100.0	631	100.0	559	100.0
技術力が高いから	229	28.7	264	41.8	251	44.9
経験が豊富だから	203	25.5	176	27.9	183	32.7
知名度が高いから	58	7.3	58	9.2	77	13.8
建設費が安いから	72	9.0	83	13.2	77	13.8
アフターサービスが良いから	264	33.1	188	29.8	149	26.7
知り合いがいる、または自分が関係しているから	171	21.5	87	13.8	74	13.2
人柄が信頼できそうだから	125	15.7	52	8.2	47	8.4
細かな要望にも応えてくれそうだから	321	40.3	132	20.9	87	15.6
その他	24	3.0	20	3.2	14	2.5
無回答	0	0.0	-	-	-	-

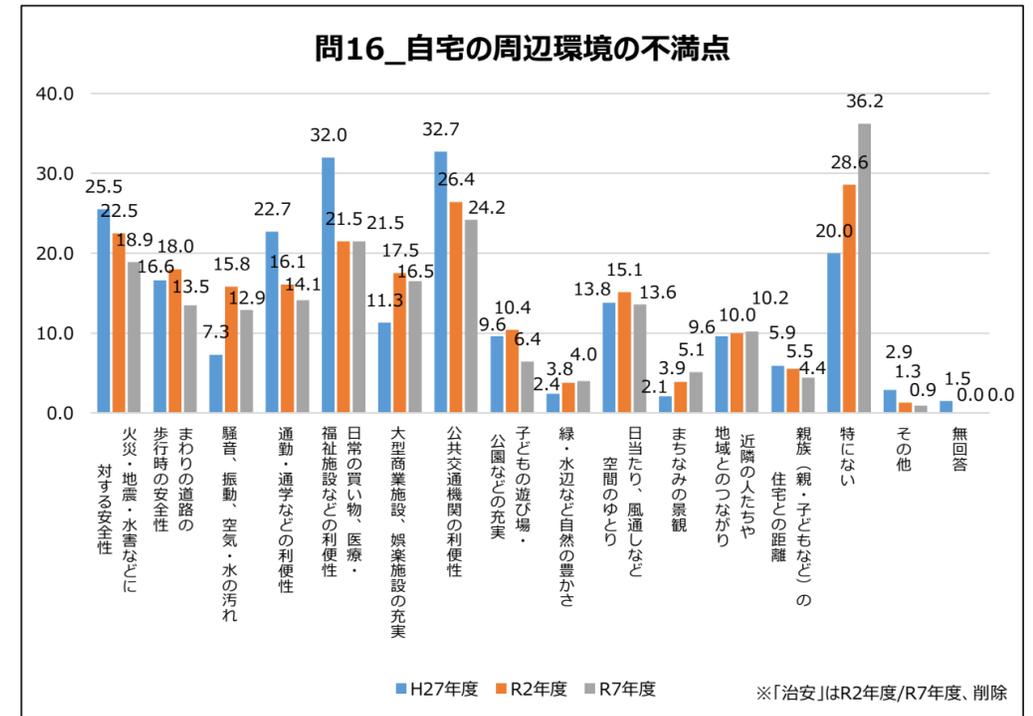
要点：依頼先選定の基準は技術、経験、アフターへ収れん。



問16\_ 自宅の周辺環境の不満点(5つまで選択可) ※H27年度は3つまで選択可

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
火災・地震・水害などに対する安全性	251	25.5	225	22.5	189	18.9
まわりの道路の歩行時の安全性	164	16.6	180	18.0	135	13.5
騒音、振動、空気・水の汚れ	72	7.3	158	15.8	129	12.9
通勤・通学などの利便性	224	22.7	161	16.1	141	14.1
日常の買い物、医療・福祉施設などの利便性	316	32.0	215	21.5	215	21.5
大型商業施設、娯楽施設の充実	111	11.3	175	17.5	165	16.5
公共交通機関の利便性	322	32.7	264	26.4	242	24.2
子どもの遊び場・公園などの充実	95	9.6	104	10.4	64	6.4
緑・水辺など自然の豊かさ	24	2.4	38	3.8	40	4.0
日当たり、風通しなど空間のゆとり	136	13.8	151	15.1	136	13.6
まちなみの景観	21	2.1	39	3.9	51	5.1
近隣の人たちや地域とのつながり	95	9.6	100	10.0	102	10.2
親族（親・子どもなど）の住宅との距離	58	5.9	55	5.5	44	4.4
特になし	197	20.0	286	28.6	362	36.2
その他	29	2.9	13	1.3	9	0.9
無回答	15	1.5	-	-	-	-

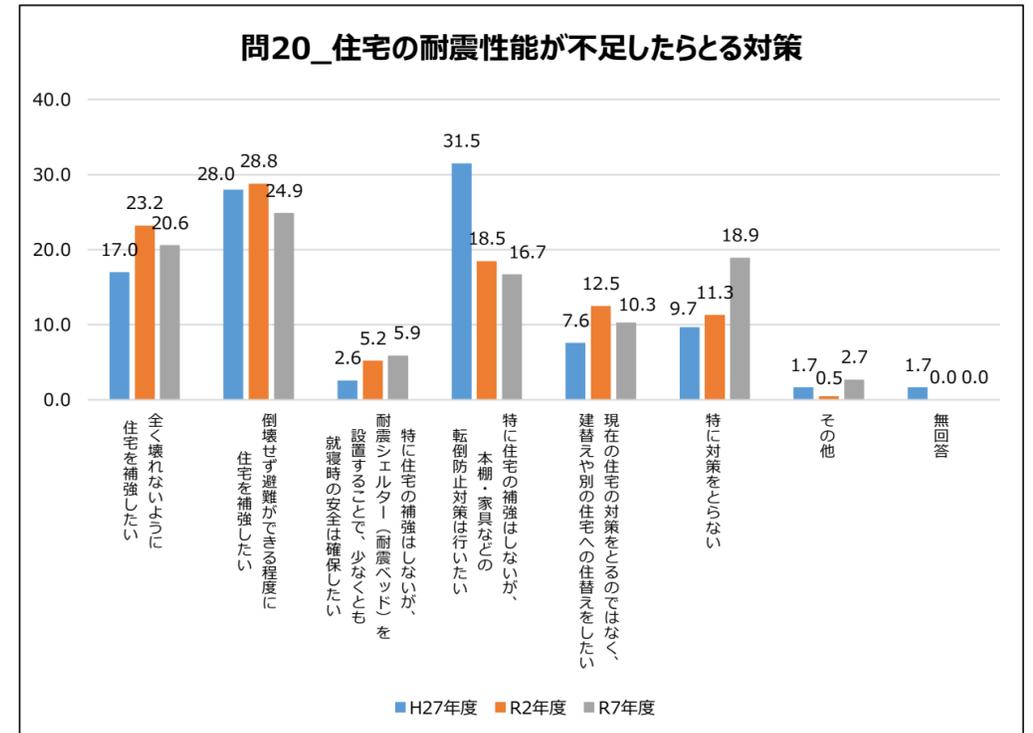
要点：不満なしが増加。ただし重要不満は「交通」と「日常利便性」。



問20\_ 仮に住宅の耐震性が不足したら、とる対策

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
全く壊れないように住宅を補強したい	168	17.0	232	23.2	206	20.6
倒壊せず避難ができる程度に住宅を補強したい	276	28.0	288	28.8	249	24.9
特に住宅の補強はしないが、耐震シェルター（耐震ベッド）を設置することで、少なくとも就寝時の安全は確保したい	26	2.6	52	5.2	59	5.9
特に住宅の補強はしないが、本棚などの家具の転倒防止対策は行いたい	311	31.5	185	18.5	167	16.7
現在の住宅の対策をとるのではなく、建て替えや別の住宅への住み替えをしたい	75	7.6	125	12.5	103	10.3
特に対策をとらない	96	9.7	113	11.3	189	18.9
その他	17	1.7	5	0.5	27	2.7
無回答	17	1.7	-	-	-	-

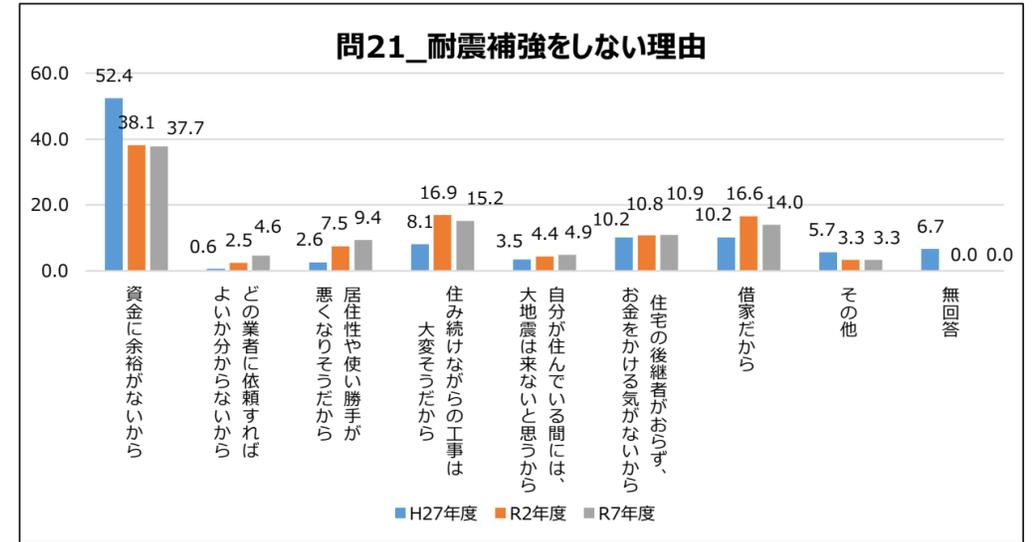
要点：最低限の安全確保志向が継続。ただし「対策しない」がR7で増加。



問21\_ 耐震補強をしない理由

	H27年度		R2年度		R7年度	
全体	508	100.0	362	100.0	329	100.0
資金に余裕がないから	266	52.4	138	38.1	124	37.7
どの業者に依頼すればよいか分からないから	3	0.6	9	2.5	15	4.6
居住性や使い勝手が悪くなりそうだから	13	2.6	27	7.5	31	9.4
住み続けながらの工事は大変そうだから	41	8.1	61	16.9	50	15.2
自分が住んでいる間には、大地震は来ないと思うから	18	3.5	16	4.4	16	4.9
住宅の後継者がおらず、お金をかける気がないから	52	10.2	39	10.8	36	10.9
借家だから	52	10.2	60	16.6	46	14.0
その他	29	5.7	12	3.3	11	3.3
無回答	34	6.7	-	-	-	-

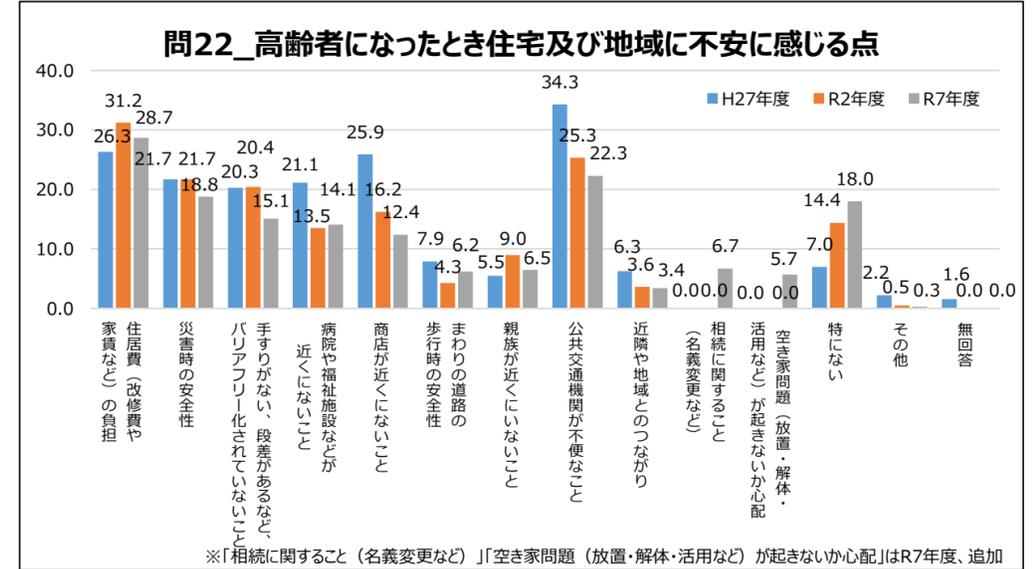
要点：一貫して資金不足が最大の壁。



問22\_ 高齢者になったとき、現在住んでいる住宅及びその地域に不安を感じる点(2つまで選択可)

	H27年度		R2年度		R7年度	
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
住居費（改修費や家賃など）の負担	259	26.3	312	31.2	287	28.7
災害時の安全性	214	21.7	217	21.7	188	18.8
手すりがなく、段差があるなど、バリアフリー化されていないこと	200	20.3	204	20.4	151	15.1
病院や福祉施設などが近くにないこと	208	21.1	135	13.5	141	14.1
商店が近くにないこと	255	25.9	162	16.2	124	12.4
まわりの道路の歩行時の安全性	78	7.9	43	4.3	62	6.2
親族が近くにいないこと	54	5.5	90	9.0	65	6.5
公共交通機関が不便なこと	338	34.3	253	25.3	223	22.3
近隣や地域とのつながり	62	6.3	36	3.6	34	3.4
相続に関すること（名義変更など）	-	-	-	-	67	6.7
空き家問題（放置・解体・活用など）が起きないか心配	-	-	-	-	57	5.7
特になし	69	7.0	144	14.4	180	18.0
その他	22	2.2	5	0.5	3	0.3
無回答	16	1.6	-	-	-	-

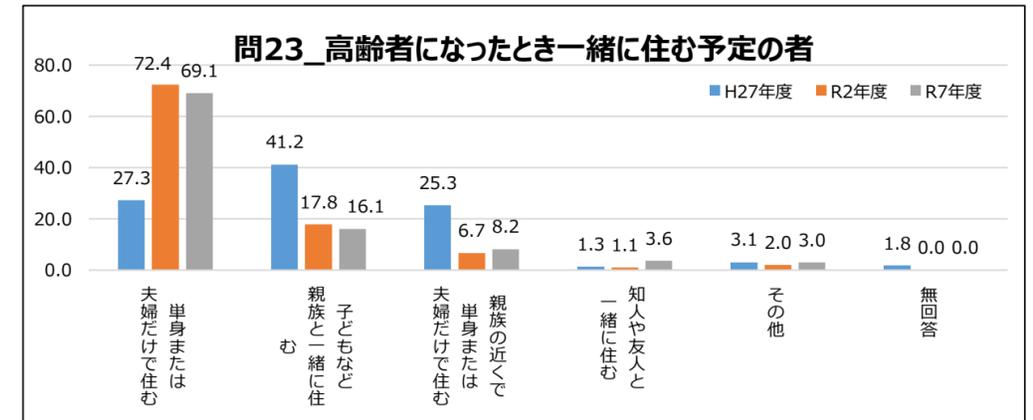
要点：住居費・交通・災害が継続して主要な不安要因。



問23\_ 高齢者になったとき、一緒に住む予定の者

	H27年度		R2年度		R7年度	
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
単身または夫婦だけで住む	269	27.3	724	72.4	691	69.1
子どもなど親族と一緒に住む	406	41.2	178	17.8	161	16.1
親族の近くで単身または夫婦だけで住む	249	25.3	67	6.7	82	8.2
知人や友人と一緒に住む	13	1.3	11	1.1	36	3.6
その他	31	3.1	20	2.0	30	3.0
無回答	16	1.8	-	-	-	-

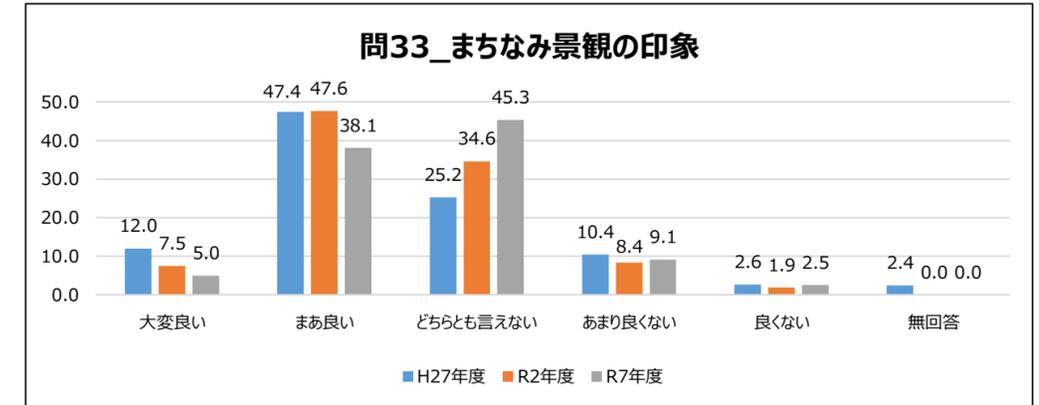
要点：一緒に住む予定の者は「単身又は夫婦のみ」が定着。



問33\_ 現在住んでいる地区のまちなみ景観についての印象

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	986	100.0	1000	100.0	1000	100.0
大変良い	118	12.0	75	7.5	50	5.0
まあ良い	467	47.4	476	47.6	381	38.1
どちらとも言えない	248	25.2	346	34.6	453	45.3
あまり良くない	103	10.4	84	8.4	91	9.1
良くない	26	2.6	19	1.9	25	2.5
無回答	24	2.4	-	-	-	-

要点：評価は「可もなく不可もなく」傾向へ。



問34\_ 景観印象の理由(2つまで選択可)

	H27年度		R2年度		R7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	129	100.0	103	100.0	116	100.0
周囲の景観に調和していない建物や工作物があるから(外壁の色、形など)	21	16.3	27	26.2	25	21.6
電柱、電線が気になるから	31	24.0	28	27.2	27	23.3
看板、広告塔が乱立しているから	7	5.4	3	2.9	7	6.0
ポスターなどが氾濫しているから	2	1.6	1	1.0	5	4.3
塀、垣根などに緑が少ないから	3	2.3	4	3.9	10	8.6
街路樹などが少ないから	9	7.0	7	6.8	10	8.6
自動販売機が目立つから	2	1.0	1	1.0	2	1.7
老朽建物や空き家があるから	70	54.3	40	38.8	38	32.8
積極的な景観育成の取組がなく、殺風景だから	51	39.5	38	36.9	44	37.9
その他	22	17.1	11	10.7	4	3.4
無回答	2	1.6	-	-	-	-

要点：「老朽化問題」から「景観施策不足」への移行が特徴。

